



森の幼稚園へようこそ  
港区立白金台幼稚園  
7月園だより

平成27年6月29日  
園長 山形 美津子

〒108-0071  
港区白金台  
3-7-1  
(3443) 5666  
http :  
//www.1r5.rosenet.jp/  
shirokanedai-kg



園長 山形美津子

おひさま ぎらぎら  
なつがやってきた  
おにわには おおきなプール  
もりのこかげは すずしいよ  
しろかねだいうちえんの  
なつを たのしもう



カブトムシの幼虫が成虫になりました

<子供たちは今>



園児のお母様によるコンサート、ウクレレ、フルート、歌など楽しかったです



屋上でジャガイモ掘り、たくさん収穫できました



年中組が収穫したキュウリは普通のキュウリの3倍くらい大きかったです

小さな命から学ぶこと

今年の3月、カブトムシの幼虫をたくさんいただきました。幼虫は、1匹ずつ透明の円筒形の容器に入っていて容器の外側から幼虫の動きが観察できる仕組みになっています。

5月、幼虫は『さなぎ』になりました。幼虫の白い体にも子どもたちは関心を示していましたが、幼虫からさなぎへの変身は子供たちが知的好奇心を増すきっかけとなりました。

子どもたちは容器のふたを開けて、上からさなぎの動きを観察したり、カブトムシの角に気付き、体をぐるぐる動かす様子に感動したりして、「すごい、動いてる!」「さなぎって何を食べるんだろう」などと会話をしていました。

部屋には、カブトムシの図鑑を用意しておき、自分たちで食べ物や育て方を調べることができるようにしてあります。子どもたちは成長の様子を図鑑と見比べながら、背中の中の羽の部分を見て、「今、これだよ」「羽のところが白いもんね」「口の周りにオレンジ色のひげがはえてる」などと口々に発見したことを伝え合っていました。

6月のある日、カブトムシは何か月もかけてやっと成虫になりました。自分の力で土の穴から這い出してきました。それを見つけた時の子どもたちの驚きと喜びは園舎中に響き渡るほどの大歓声でした。

カブトムシは、その成長を幼虫のときから見守ってきた子どもたちに、たくさんの学びをプレゼントしてくれました。子どもたちは、この小さな命が必死に生きていることを目の前にして、生きることの素晴らしさや命の大切さなどを学んだと思います。

あと3週間で夏休みを迎えます。子どもたちはたった一度の体験からも多くのことを吸収し、学んでいく素晴らしい力をもっています。様々な体験を通してたくさんのことを学ぶ夏休みであってほしいと願っています。

<今月の指導のねらい>

- 3歳児** ○教師や友達のそばで、好きな遊びを楽しむ。  
○いろいろな水遊びを通して、水の心地よさや楽しさを感じ、水に親しむ。  
○所持品の始末や着替えなど、園生活に必要なことを自分でしようとする。
- 4歳児** ○プール遊びの身支度や準備、後始末の仕方が分かり、自分でしようとする。  
○いろいろな水遊びやプール遊びを通して水に親しみ、楽しさを感じる。  
○学級の友達や教師と一緒に、簡単なルールのあるゲームなどを楽しむ。
- 5歳児** ○プールの準備や後始末、当番活動など、生活に必要なことが分かり、自分から取り組む。  
○プール遊びの楽しさを感じ、自分なりのめあてをもって挑戦する。  
○栽培物の生長や収穫を楽しみにしながら世話をする。